

平成28年度事業計画書

生活介護事業所 みどり教室

1. 基本方針

重度の障がいがあっても地域の中で普通に暮らせることのできる街づくりを目指し、様々な社会資源を活用しつつ、重度の障害児者が求めるサービスを提供するとともに、より困難な状況にある方々の福祉に一躍を担うべく主体的に取り組むことを基本理念とします。サービスを実施提供するうえにおいて、障害児者の多様なニーズに対して柔軟にかつ丁寧に応えることを基本姿勢とし、粘り強くその事業及びサービスの実施を試み、最大限の努力を行うことを本会の基本方針とするものです。

私たちの姿勢について

私たちは、「障害」ということばを生きていく上での困難さと捉えその困難な状況下で精一杯生きる対象者の有する権利と人格に対して、最大の敬意をはらうとともに、私たちが行う支援が効果をあげるべく、自己研鑽を行い、私たちの職務が対象者の福祉に貢献することを喜びとして、目前にある使命を、諦めることなく熱意を持って果たしていくことが、私たちの事業に対する姿勢です。

2. 施設<みどり教室>として大事にしていくこと

① 利用者主体

一人ひとりの想いを尊重した活動を支援します

② 安全、安心の提供

清潔、安全な環境づくりを常に心掛けます

安心感を抱き、笑顔の絶えない日常を支援します

③ 人とのつながりの中で

地域の活動を通し、施設として個人として人とのつながりを深めていくなかで充実した時間を支援します

職員の姿勢として大事にしていくこと

- ① 1日は挨拶ではじまり、挨拶で終わります。笑顔を決やすことなく気持のよい挨拶を心掛けます。
- ② サービスを担う者として相応しい『言葉遣い』や『態度』を意識します。
- ③ 何事にも精一杯・丁寧に取り組み真摯な態度で向き合います
- ④ 常に成長できる職員集団をめざします

3. 平成 28 年度の取り組み

みどり教室では、全体を大きく 3 グループに分け、各グループの特性をいかした目標の設定や方針を定め、さまざまなプログラムを取り入れ日中の活動を行ってきました。今年度においては、よりその多様な特性に配慮したグループ編成を行います。3 つのグループに加え、プログラムの内容にあわせた、より小さなグループを結成します。そのうえで、提供状況や経過を把握し、日々のプログラムを通して、どのような支援があれば、どのくらい生活が豊かに広がっていくかという観点から支援の課題を明確化し、課題に向き合いながら支援を行います。

プログラムにおいては、意向やニーズに沿った内容で構成し、十分なわかりやすさと、できる限りの個別化による設定を行います。具体的なプログラムの 1 つとして、2 年前より取り組んでいる野菜チップスの販売活動の定着があげられます。菓子製造の許可申請から販売場所の確保、そのための計画的なプログラムを作成し実施します。利用者の皆さんの野菜チップスの商品化という目標・ニーズが達成できるよう努めます。

地域への取り組みにおいては、みどり教室の社会化及び地域化をめざし、利用者が高齢者のサロンなどの地域活動に参加することにより、助け・助けられる関係を築き、ささえ合いや交流の場が広がるよう努めます。

また、利用者の皆さんの体調や機能に沿った決め細やかな支援をめざし、利用者・家族・主治医・各支援機関・支援員・作業療法士等がそれぞれに連携を深めあい（支援会議の開催等）ながら、機能の維持や生活の質の向上が図れるよう支援を行います。

最後に、防災関係において、防災・減災は、自助・共助・公助の考え方にに基づき行われますが、その自助の視点から、避難訓練だけにとどまず、利用者にとって楽しみながら、考えられる訓練（避難食の味に慣れる。お泊り支援。）の実施を目指します。

4. 活動内容詳細

①作 業

作業を日中の活動の中心としたうえで、利用者の特性に応じた内容で取り組みます。そのどれもが利用者にとってわかりやすく、やりがいや達成感を味わっていただけるよう工夫し、又、新しい作業にチャレンジすることで更なる可能性と喜びを感じていただけるよう取り組みます。

・受注作業

電気部品やバイアステープなどの受注した内職を、期日までに仕上げ納品します。

〈取引先〉篠原電気・(株) キャプテン

・野菜チップス

サツマイモやレンコン、ゴボウやニンジンなどの生の野菜を使用し、野菜チップスを作成します。材料の調達や店頭販売などを繰り返し行い市場の反応を見ながら商品化を目指します。みどり教室の代表的な商品となるよう取り組みます。また、油を使用しないチップスの研究にも取り組み新しい食感を追求します。

・オリジナルキャンドル（ ジェルキャンドル ）

ジェルやカラーサンド・ガラス細工・貝殻などを使用し夏なら海、秋ならハロウィン、冬ならクリスマスなどをテーマに季節感あふれる作品を目指します。

- ・調査活動

外出・買物・市場調査などを通じ、販売促進のための委託可能店舗のリスト作りや新商品開発のためのヒット商品調査を行います。又、外出の際などに必要な休憩場所や手洗い場所、交通機関の利用状況などを調査し、昨年度に着手できなかった地域の福祉マップの作成に取り組みます。

- ・陶 芸

講師の指導のもと、陶芸作品を作成し販売します。それぞれの利用者の感性に合ったブランドを創設します。自己の表現を追求し、ブランド力を高められるよう取り組みます。

- ・手芸品

クラフトテープ・靴下の廃棄リング、和紙染め、アクリル毛糸等を使用し、工夫を凝らしながらオリジナルな手芸作品を作成し販売します。また、それらの作成スキルを強みとし、高齢者や子どもたちに教えることにより自己評価を高め、地域に貢献します。

〈作品類〉手作りカゴ・和紙染ノート・マット・座布団・鍋敷き・タワシ類・刺繍等

②趣味活動

日中活動の中、作業のみでなく、楽しい雰囲気の中で趣味の活動やリラックスを取り入れることで緊張を和らげ、より深い信頼関係の構築を目指します。又、障がいや特性に考慮し、生きがいややりがいを重視した活動を行っていきます。

- ・パソコン

パソコンに親しみを持ってもらうことを主な目的とし、入力の方法など操作の手順から学んで行く。又、ゲームなども取り入れ楽しみながら取り組んでいきます。

- ・絵 画

いろいろな画材、画題を提供し、好きな絵を描いてもらう事で、リフレッシュを図り、技術の向上を目指します。

- ・調 理

一人ひとり役割を持って調理に取り組み、一つの食べ物を作り上げる楽しさと自分たちで作ったものを食べる喜びを感じてもらい、「食」の興味を深めます。

- ・音 楽

季節の歌を歌ったり、楽器を鳴らしたり、体を動かしたりする中で、音楽を通じ季節感も味わいながら、心身のリラックスを目指します。

- ・映 像

画面から出てくる音や映像を見て、体感も図りつつ、又それぞれの好きな絵や映像もあり、趣味の幅を広げます。

- ・散 策

天気の良い日や暖かい日に、体感やリフレッシュもかねて、無理なく取り組みゆったりとした時間を感じてもらいます。

- ・スポーツ < ボウリング・卓球・プール・フリスビー >

大阪市長居障がい者スポーツセンターにて職員とともにスポーツを楽しみます。

・手話

さまざまな音楽にあわせて手話をします。簡単な挨拶や会話も学びます。又、阿倍野作業所連絡会とも連携し手話歌を楽しみながら行ない、年に1回クリスマスコンサートで発表します。

③販売企画開発実行委員会

利用者と職員が主体となり販売計画や商品開発・在庫管理や棚卸などを行ないます。又、販売場所の新規開拓など幅広く行います。

<定期店頭販売>

- ・大阪市障がい者支援施設製品（授産製品）販売促進事業
*ハートフル商店街 地下鉄堺筋本町駅構内『トルテ』*福祉夢広場
- ・阿倍野区役所

<委託販売予定先>

- ・同法人 生活介護事業所 ゆら
- ・ドマーニ マーチ店舗限定販売
- ・ヘレンケラー財団シルフ店舗限定販売
- ・茶来 店舗限定販

④その他

- ・合同スポーツ交流会
阿倍野作業所連絡会と連携し、スポーツ振興部指導員の指導のもと活動を行います。身体を動かすことの楽しさを知ることが目的とし、他施設と合同で行うことにより利用者間の交流を図ります。障がい分野だけでなく高齢者、子育て支援と合同での開催を目指します。
- ・足浴・手浴・ハプティックセラピー等
身体が冷えてしまいやすい方に体感をかねて行います。また、指導を受けた職員がハプティックセラピーを行ないます。

5. 地域での活動

⑤地域との連携

地域の行事に関しては積極的に参加し（防災関係等含む）地域の中にある福祉施設としての役割を果たせるよう努めます。昨年度より取り組んでいる高齢者地域活動への参加（清明丘ふれあい喫茶・阿倍野区希望の森）については引き続き行い、これにとどまることなく他サロンなどに働きかけながら新たなつながりを構築できるよう取り組みます。また、みどり教室における高齢者サロンの開催や、地域懇談会への場所の提供、子育てプラザとの共同手作り教室など社会福祉協議会や地域推進委員との交流や協働を推進し、みどり教室の社会化・地域化を目指します。

④ボランティア

地域の方々が地域内の施設で活動することを通して、より深くその施設を理解するという観点から、ボランティアを幅広く募集します。そして利用者との交流を通して利用者を身近な存在として感じられるよう開かれた施設を目指します。

6. 健康衛生管理

利用者の障害・健康の状態を的確に把握し、看護師と連携し疾病の予防、健康の増進に努めます。（健康・衛生計画表参）

健康・衛生計画表

	内容	実施予定	備考
健康診断	血液・尿検査内診等		年1回
O T	姿勢管理等	月4回 毎週火曜日	作業療法士
健康チェック・相談	血圧測定・検温	月4回 毎週木曜日	看護師・医師
理容・美容	散髪・洗髪等	月1回 第2火曜日	訪問理容 (KAMIYA)

7. 施設運営管理

① 利用定員 : 20名

② 職員

施設長、生活支援員、調理員、調理補助、看護師、作業療法士

8. 防災関係

防災計画を作成し阿倍野消防署と連携を図りながら防災訓練を実施します。

<防災訓練>

- 4月 防災について (総論・復習)
- 6月 避難、誘導訓練
- 8月 避応急、救護訓練
- 9月 防災総合訓練 (災害時体験等)
- 11月 避難、誘導、消火訓練
- 12月 感染症対策 (総論・復習)
- 2月 避応急、救護訓練
- 3月 避難、誘導、消火訓練 (消防署・子育てプラザ連携)

9. 研修関係

《法人内研修》法人内事業所職員

- ・オリエンテーション
- ・基礎研修
- ・現任研修 (初級)
- ・現任研修 (中級)
- ・現任研修 (上級)

《施設外部研修》 随時参加

- ・福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程の活用
- ・阿倍野区施設連絡会研修事業の企画・実施および参加
- ・阿倍野区自立支援協議会研修事業の企画・実施および参加

*外部研修については、常に職員に広報し自発的な参加希望に基づいて実施していく。ただし、職員に対して研修の斡旋も行います。

10. 工賃

工賃は、当該月の翌月の25日に支払うものとし、支払い工賃額は、以下のとおり算定した額とします。

$$(\text{作業収入} - \text{原材料費}) \div \text{総利用日数} = \text{日割工賃}$$

$$\text{日割工賃 (下一桁は切捨て)} \times \text{出勤日数} = \text{支払工賃}$$

*余剰金がでた場合は、年度末に精算し一時金として支払います。

11. 行事

		内部行事		外部行事
4月	未	木下大サーカス招待行事(4月~6月)	未	阿倍野どっぷり昭和町
			未	西六横丁まつり
5月	未	外出レクリエーション神戸ベイクルーズ	未	阪南青空マーケット
			未	大阪ガスチャリティバザー
6月	未	みどり教室作品展&模擬店		
	未	外出レクリエーションシティプラザスパリゾート		
7月	未	外出レクリエーションエキスポシティ	10	今宮えびす神社作品展
8月	未	外出レクリエーションダスキンミュージアム		
	未	高校野球観戦		
9月	未	外出レクリエーションBBQ舞洲	未	大阪ガスチャリティバザー
	未	外出レクリエーション京都鉄道博物館	未	長居フェスティバル
10月	未	外出レクリエーション一泊旅行天橋立	未	大阪施設連絡協議会アート展
	未	みどり教室作品展&模擬店	未	阿倍野つながりフェスタ
11月	未	外出レクリエーション奈良公園	3	阿倍野区民体育祭
			未	第10回みんなの作品展
12月	未	外出レクリエーション宝塚歌劇観劇	未	長居スポーツセンタークリスマスの集い
			未	クリスマスイブイブコンサート
2月	未	外出レクリエーション吉本新喜劇		
3月	未	外出レクリエーション相撲観戦		
	未	交流会		

1 2. 会議等について

みどり教室においては、代表者会議・調整会議・定例会議・ケース検討会議・全体ミーティング・グループミーティングを開催し、円滑な活動の遂行を計ります。尚、会議の詳細については下記のとおりとします。

■代表者会議 <年2回>

- ①年間行事の決定
- ②ケース会議の開催及び件数等決定

■調整会議<月1回程度>

- ①月間行事及び予定の決定

■全体ミーティング<毎日>

- ①毎日の連絡事項

■ケース検討会議<月1回程度>

- ①各ケースの方向性について

■定例会議<月2～3回>

- ①各行事の内容検討等

■グループミーティング毎日

- ①1日の取り組みについての反省及

び評価

1 3. その他

①ひやりハット報告書の作成

日常の中で気づくひやりハットにについて報告記録し事故防止に努めます。
毎日のミーティングにおいて確認し記録します。

②事故報告書の作成

事故が発生した際には正確に検証・記録し、事故の再防止を図ります。

③給食の実施

日毎の2種類の献立のうち1種類を利用者が選択し、給食提供。
季節感や健康に配慮したメニューを提供します。